

事業所名

スマートキッズプラス本八幡

支援プログラム

作成日

2025年

1月

31日

| | | | | | | |
|-----------|--------------|--|----------|---|---|--|
| 法人(事業所)理念 | | 教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します | | | | |
| 支援方針 | | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。 社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。 地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。 | | | | |
| 営業時間 | | 12時30分から | 18時30分まで | 送迎実施の有無 | あり なし | |
| 支援内容 | | | | | | |
| 支援方法 | | 個別課題 | | 集団・小集団課題 | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 生活スキル獲得のための食具の操作や道具操作などの課題 季節や気温に合わせて健康を保つための服装の調整の課題 食具、筆記具等生活で使用する物の練習 | | 危険箇所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施 清潔への理解と習慣のための清掃活動(ぞうきんの使用、ほうきの掃き方、ロッカーやカバンの中の整理等) 生活に必要なスキルと知識の習得のための調理活動 | | |
| | 運動・感覚 | 活動時や課題実施時の姿勢保持の課題 指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、プットイン等)の課題 身体全体の機能向上のための粗大運動(例:ハードル、サーキット運動等)の課題 | | 体幹や姿勢保持・ボディイメージの形成のための活動(バランスボール、平均台等) 聴覚の感覚や発育、表現のための活動(歌、楽器の演奏等) 指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等) | | |
| | 認知・行動 | 数字の理解や計算の習得に関わる課題 知覚や認知に関わる色や図形を用いた課題(マッチング等) 時計や数量についての理解に関わる課題 | | 数字の理解に関わる活動(全部でいくつ?、数字当てゲーム、ビンゴゲーム等) 興味・関心の幅を広げるための活動(これってなんだ?、好きな物どれだ?等) 記憶保持に関わる活動(覚えて真似っこ、神経衰弱、山手線ゲーム等) | | |
| | 言語・コミュニケーション | 文字や文章の読み書きの理解のための課題 文字・記号、絵カード等の適切なコミュニケーション手段を活用するための課題 コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題 | | 口頭での指示理解や説明内容の理解のための活動(スリーヒントクイズ、メモをとってみよう) 人との相互理解のコミュニケーション活動(他児・指導員に関するO×クイズ等) 文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等) | | |
| | 人間関係・社会性 | 集団への参加や集団での指示理解のための課題 適切な距離感や丁寧な言葉への理解に関する課題 社会でのルール理解や他者との関わりに関する課題(SST) | | 社会性の向上のための活動(SST、ルールを守って協力ゲーム等) 複数の利用者同士の適切な関わり方の理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等) 自己理解・他者理解のための活動(自己紹介をしてみよう、気持ちの良い言い方・伝え方、クッション言葉、アサーション等) | | |
| 家族支援 | | 保護者に対して、発達検査や本事業所内での様子、家庭での情報を踏まえてアセスメントした内容を共有する。また、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応していることを家庭でも取り組めるように共有していく。 家族の就労等の預かりニーズに対応するために、当事業所を利用することで、課題に取り組む、家庭でも同様に対応が出来るように繰り返し支援をしていく。 | | 移行支援 | 学校、他事業所と利用者に対して支援対応を一貫するために、対応方法について定期的に連携を行う。 今できるようになっておきたい事、将来できるようにになりたいことを整理し、行っている当事業所での支援内容を学校や他事業所と情報共有し、同じ目標のもと支援を行えるようにする。 | |
| 地域支援・地域連携 | | 各種関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有することで、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。 担当の相談支援専門員と定期的に情報交換を行い、相談支援専門員を通して他事業所や学校等との連携を進める。 | | 職員の質の向上 | 経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。 | |
| 主な行事等 | | 避難訓練(火事、地震、水害、不審者対応等)、課外活動(現代産業科学館へ行こう、初詣に行こう)、調理活動(フルーツポンチ作り、パフェ作り)、ハロウィンパーティー、クリスマス会、6年生を送る会、保護者会、その他 | | | | |